



2014・11・1

第 194 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

「月間」の成果を「11・24 集会&パレード」へ

ガイドライン改定反対も掲げ

「11・24 集会&パレード」に向けての第4回運営委員会が10月21日に開かれました。

冒頭、「九条の会」事務局からガイドライン改定の中間報告が持つ意味についての問題提起があり、年内の改定を許さない取組の重要性について確認しあいました。また、全国一斉行動月間の各分野、各地の取り組みの状況が紹介され、その成果・教訓にたって開かれる11・24集会についても意見交換がなされ、遠隔地の九条の会参加の連絡があいついでいることも報告されました。

それらを受けて運営委員会では、当日のスタッフの分担体制や、スローガン、シュプレヒコールの案についても検討・確認しました。

集会での発言者を募集します

運営委員会では、11月24日に日比谷公会堂で行われる集会（別項）での報告者を公募することを確認しました。募集要綱は次のとおりです。

*「報告」のテーマ…各九条の会の10月「月間」の取り組みの内容と教訓。

安倍内閣の改憲暴走を許さない 九条の会集会&パレード

◇11月24日

<集会> 13:00~14:30

よびかけ人あいさつ

各地・各分野からの「月間」の取り組み報告

朗読劇「非戦を選ぶ演劇人の会」…

出演者…高橋長英、三田和代、山谷典子、小林あや、根岸季衣

脚本：篠原久美子、相馬杜宇

会場 日比谷公会堂

開場 12:30 (11:00より入場券配付)

<パレード> 15:00 出発

*申し込み方法…報告内容を400字にまとめ、発信者を明記して事務局へファックスまたはメールでお送りください。採用者には事務局から連絡します。

FAX 03-3221-5076

メール mail@9jounokai.jp

*締め切り…11月10日(必着)

全道集会に向け各会の取り組み進む

【北海道】 北海道内各地の 174 の「九条の会」でつくる「憲法 9 条を守り、集団的自衛権の閣議決定撤回を求める全道集会」実行委員会は 10 月 13 日会議を開き、東京で 11 月 24 日に開かれる「九条の会集会&パレード」に呼応して開かれる 11 月 20 日の全道集会成功に向けた取り組みを話し合いました。

各地の「九条の会」からは、「高校前で初めて宣伝し、30 人分の署名が寄せられた」「スーパー前と地域訪問で 203 人分の署名を集めた」「会員に集会のビラと署名用紙をセットで届け、参加をよびかけている」などの報告がされました。

東京の「集会&パレード」には 2 人の代表を送ることを決めました。

【札幌市・グリーン九条の会】 札幌市の経営者らでつくる「グリーン九条の会」は 10 月 11 日、県知事選を目前にした沖縄から伊波洋一元宜野湾市長を迎え、「基地なき沖縄」を展望した講演会を開きました。

伊波氏は第 2 次大戦では 3 ヶ月で 20 万人が死んだ沖縄戦の苦い記憶、日本復帰後 40 年たっても米軍基地が残る現実を述べ、沖縄知事選の意義を強調しました。

会社社長、弁護士、市民ら 150 人が熱心に耳を傾けました。

閣議決定撤回を求める運動を交流

【岡山県】 岡山県九条の会は 10 月 5 日、結成 10 周年記念のつどいを開き、約 500 人が参加しました。

第 1 部では、県内各地の九条の会の集団的自衛権行使容認撤回を求める活動の交流

を行いました。

岡山市の三勲・旭東九条の会からは、毎月発行するニュースが 100 号になり、34 人で 1000 人の賛同人に配っていることや、地域を訪問して賛同署名が 2300 人、有権者の 20%弱になっていることが報告されました。

宗教者九条の会代表は、学習会や街頭でのアピール行進を定期的に取り組んでいることを報告し、「アジアの宗教界は日本の反動化の動きを危惧している」と訴えました。

新見市の新見 9 条の会からは、世話人会は毎月開き、賛同署名は地域を訪問したり、ストア前で取り組んだりして 3600 人に達したこと、戦争体験を若い人に広げようと手記を募り、パンフレットにする計画などが紹介されました。

第 2 部では九条の会事務局の小澤隆一さん、ジャーナリストの伊藤千尋さんの講演がおこなわれました。

県九条の会の真壁忠彦・前倉敷考古館館長が「戦争で人殺ししない国であり続けたい」と決意を述べました。

沖縄知事選カンパも訴えて

【佐賀県】 九条の会佐賀県連絡会は 10 月 15 日、「憲法でいこう！佐賀県集会」を開き 180 人が参加しました。

沖縄県平和委員会の大久保裕事務局長が「沖縄米軍基地の実態とオスプレイ佐賀空港配備の問題点」と題して講演、オスプレイの佐賀空港配備は「沖縄の“負担軽減”につながらない」とし、「米軍基地の存在そのものが他国に対する武力による威嚇」にあたると批判しました。

会場では沖縄県知事選のカンパをよびか

け6万円余が集まりました。

この日の集会を成功させるため各地の九条の会が奮闘しましたが、伊万里・有田九条の会のYさんからは後日、「会員さんが車を出してくれてベンツに乗ってきた。生まれて初めて乗った。弁当もつくってくれたんだよ」という報告とともに、集会の翌日に参加者に電話をかけて感想をきいたところ、「オスプレイは安保問題が根底にあることがよくわかった」「自衛隊と米軍と一緒に敬礼している写真が印象に残った」などの反応が寄せられたそうです。

オフィス街でランチ TIME デモ

【和歌山弁護士会】 「憲法9条を守る和歌山弁護士の会」は10月1日、「憲法の破壊を許さないランチ TIME デモを実施し、100人が参加しました。

毎月実施し、5回目になるこの日のデモ出発前に藤井幹雄弁護士は、7月1日の閣議決定にたいし「私たちは黙っていないぞという声をあげよう」と呼び掛けました。「戦争は絶対いやや」、「憲法改悪めっちゃださい」などの声をオフィス街に響かせ、昼食に出たサラリーマンらの注目を集めました。

2歳になる娘をおんぶして歩いた女性は、「なんとなく自民党が勝って、そのせいで秘密保護法や集団的自衛権、原発再稼働。とても不安です」と話しています。

九条の会の結成のたより

【岡山市御津地域】 岡山市北区御津(みつ)地域で9月28日、「御津九条の会」結

成会が開かれました。

大智豊代表が、「安倍政権は9条の解釈変更によってアメリカとともに『戦争する国』に変えようとしている。危機感をもち『会』の結成をよびかけた」とあいさつ。県九条の会、大元・鹿田九条の会、津島九条の会、岡山市職員・退職者九条の会が連帯のあいさつをし、岩間一雄岡山大学名誉教授が講演しました。

日本国憲法の前文を読み上げ、その真髓の9条を守る会の取り組みを広げようと確認しました。

【新潟県長岡市寺泊地区】 長岡市寺泊地区で9月28日、「良寛の里・9条の会」の結成集会が開かれ、会場いっぱいの130人が参加しました。江戸時代に僧侶・良寛が行脚した長岡市和島、寺泊、燕市分水などの地域が「良寛の里」とよばれています。

加茂市の小池清彦市長もかけつけ、加茂市が安倍首相に送った「憲法の解釈変更により集団的自衛権を容認する閣議決定に対する意見書」を全員に配布し、「解釈がエスカレート、軍国主義、徴兵制まで許してはならない」と語りました。

三条市の浄福寺住職、青山信太郎さんが駆けつけ、命と平和の大切さを宗教者の立場から話し、参加者を励ましました。

【神奈川県足柄上郡大井町】 11月29日の「大井九条の会」の発足に向けて、周辺の九条の会の経験を聞くなど、準備会を重ねています。

当日の「発足記念学習講演会」ではコカリナとフルート演奏につづいて九条の会事務局の川村俊夫さんが「今、憲法九条のもつ意味」と題して講演します。